

◆編集・発行  
茨城町 町長公室 秘書広聴課  
〒311-3192  
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080  
☎ 029-292-1111  
メールアドレス  
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口  
住民基本台帳  
令和元年9月末現在  
男 16,367人  
女 16,192人  
総人口 32,559人  
世帯数 13,292世帯

- ◆茨城町民憲章
- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
  - 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
  - 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
  - 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
  - 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

- ◆町の花 桜  
◆町の木 梅  
◆町の鳥 ウグイス

◆町の情報発信中!!  
●町公式ホームページ  
<http://www.town.ibaraki.lg.jp/>



●町公式ツイッター  
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>



●町公式インスタグラム  
[https://www.instagram.com/townibaraki\\_official/](https://www.instagram.com/townibaraki_official/)



## 里山に育む生きものたち

No.87 ナベヅル

学名 *Grus monacha temminck*

文 山口 萬壽美  
写真 清水 道雄

### ▼ 涸沼周辺に新種のナベヅル飛来

東永寺地区の水田で、平成30年11月29日、松本光寿さん(水戸市在住)が、県内初の「ナベヅル」を発見しました。町に来て2日目の30日、この鳥たちは生息地を前田地区に移していました。飛び去る直前、「茨城町自然観察会」のメンバーである清水道雄さんが、この鳥の家族の撮影に成功しました。

### ▼ 主な特徴

ツル類は大型の水辺鳥で、頸・足ともに長く、優雅な鳥です。全長約98・5cm、額は黒く目の上は赤斑で、頸の下半部以下は灰黒色、「クルル・・・」と鳴くのが特徴です。

世界では14種が分布しており、国内では、タンチョウ、ナベヅル、マナヅル

ル、クロヅル、ソデグロヅル、カナダヅル、アネハヅルの7種が記録されています。タンチョウだけが日本で繁殖し、他の6種は主に冬鳥として日本に渡ってきます。クロヅル、ナベヅル、マナヅルの3種は毎冬渡来し、他の3種はまれに渡来するだけです。春と秋や初夏などの不定期な記録もあります。

### ▼ 分布

バイカル湖付近や中国北東部などで繁殖し、冬季は大部分が日本で越冬します。約8割が鹿児島県出水市へ渡り、少数が山口県熊毛町へ渡るといいます。

### ▼ 涸沼でのツル類飛来記録

1回 昭和63年10月30日  
アネハヅルが駒場の水田に飛来。

2回 平成15年11月2日  
カナダヅルが小堤の水田に飛来。

3回 平成30年11月29日  
ナベヅルが東永寺の水田に飛来。

県内では、大正9年(1920年)にクロヅルが那珂川で発見されました。

### ▼ 涸沼は野鳥のサンクチュアリ(聖地)

平成27年5月に涸沼がラムサール条約湿地に登録され、早4年が経ちましたが、オオワシやオオセツカ、スズガモなどは今年も健在で、シジミも豊漁ということでした。

涸沼のような湿地の重要な環境が身近にあることで、ツル類やヒメハジロなど多くの渡り鳥を見ることができ、この生物多様な環境を守り、後世に継承していきましょう。

## ちびっ子アート

### 沼前幼稚園



「みんなでがんばった運動会」  
沼前幼稚園児 20人